

本日のプレスリリースは、これをもって終了とします。

CSF 防疫措置とワクチン接種開始について

(11月17日 20時現在)

○本県の養豚農場（韮崎市）で発生したCSF防疫措置について、本日、18時15分に全頭の殺処分（注）を完了し、19時15分に埋却場所への投入作業を完了いたしました。

注：防疫措置中に出産があったため、殺処分頭数は890頭となりました。

※CSFワクチンの接種開始について

○ 家畜伝染病予防法第6条第1項に基づき、本日、養豚施設1施設において、CSFワクチン接種を開始しました。

（なお、施設名は非公表とします。）

今後、早急にワクチン接種を進めて参ります。

「韮崎市の養豚農場での防疫措置」、「ワクチン接種」の写真を提供できますので、下記までお問い合わせください。

<報道機関へのお願い>

CSFのウイルス拡散を引き起こす恐れがあることから、家畜保健衛生所やワクチン接種農場での取材は厳に慎むようご協力をお願いいたします。

- ☆ CSFは、豚、イノシシの病気で、人に感染することはありません。
- ☆ CSFワクチンを接種した豚肉を食べても、人の健康に影響はありません。

照会先：農政部 畜産課 生産振興担当 電話：055-223-1607